

2

読んで、あとの問いに答えましょう。
田中さんのクラスでは、物語を読んで、登場人物についてしようかいし合う学習をしています。次の物語を

あまん きみこ
「きつねの写真」による。

あまん きみこ

「きつねの写真」による。

一 線部1と 線部2の文の主語にあたるものを、それぞれ一つずつ選んで、その記号を書きましょう。

ア

イ

ウ

エ

1 山野さんは、

それでも

むりに

たのみました。

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

2 きつねの

すんでいたらしい

小さな

あなが、

あちらにもこちらにも

あるのです。

二 線部 a の漢字を正しく書きましょう。

三 線部3の「目がまるくなりました。」の言い切りの形は「目がまるくなる」です。同じような意味を表す言葉を次の中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 目が利^きく

イ 目を回す

ウ 目を見る

エ 目がこえる

四 田中さんは、好きな場面について次のようにまとめています。この場面は、本文中の [] の部分をまとめたものです。

[ア] の中には、どのような内容が入ると考えられますか。選んだ理由に^そ沿うように、書き出しの言葉に続けて二十字以上、四十字以内で書きましょう。ただし、書き出しの言葉は字数に入れません。

<p>好きな場面</p>	<p>好きな理由</p>
<p>松ぞうじいさんが、「とび吉、こっちへ、こっち。」とよぶと、林の木が [ア] 場面。</p>	<p>松ぞうじいさんが、「とび吉、こっちへ、こっち。」とよぶととび吉が林の木によばれたようになって立っていた所が、まほうみたいに不思議で心に強く残ったから。</p>

五 田中さんは、「はじめ」と「おわり」で山野さんの気持ちが変化した理由を、次のようにまとめていました。
書き出しの言葉に続くように イ の中に十字以上、二十字以内の言葉を入れて文章を完成させましょう。

はじめの気持ち

新聞のきつねの特集にのせるため、
ごんざ山のきつねの写真をとりたいと
思う。

山野さんの気持ちが変化した理由

山野さんは、写真のきつねが、

イ

気づいたから。

おわりの気持ち

ごんざ山できつねの写真がとれてい
たのに、ひきだしのおくにしまい、
「これはなかったことにしよう。」と
思う。